

近畿中部



「近中くん」
 近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
 生年月日：平成 19 年 9 月 1 日（防災の日）
 出身：近畿中部地方
 名前：近中くん（きんちゅうくん）
 職業：徳し業
 宝物：手作りのまが玉札
 趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、オリックス）
 特技：たこ焼き、さしめんの早食い

近畿中部防衛局広報誌

2018
 1 - 3月号



（SH-60K）

（写真提供：舞鶴地方総監部広報）

目次

小松防衛事務所開所式	2~3
第33回 防衛セミナー開催（淡路市）	4
FM収録（若手職員との座談会）	5
米軍経ヶ岬通信所に関する動き	6
部内講習会の開催 近畿中部防衛局からのお知らせ	7
なるほど防衛豆知識	8

小松防衛事務所開所式

小松防衛事務所の設置

これまで、石川県金沢市に所在していた金沢防衛事務所を本年 1 月に小松市に移転させ、新たに小松防衛事務所を設置いたしました。

小松防衛事務所は 1 月 4 日（木）から業務を開始し、1 月 9 日（火）には和田小松市長、井出能美市長、^(まえ)前川北町長をはじめ多くの地元関係者の皆様にご臨席を賜り、事務所が入居する小松空港庁舎において開所式を行いました。開所式では、藤代局長の挨拶和田小松市長からのご祝辞、来賓のご紹介、事務所職員の紹介などが行われました。

また、局長は挨拶で、「本事務所は、防衛局における北陸地区の現地窓口として、地元の皆様のご意見やご要望をしっかりお聞きし、きめ細かく対応するなど、防衛省・自衛隊と地域社会との架け橋としての役割を最前線で担っている。小松の地において地元の皆様から信頼され、身近に事務所があって良かったと思って頂けるよう、小松基地周辺における騒音問題を始めとする諸課題に積極的に取り組んで参りたい。」と述べ、その後、和田小松市長からご祝辞をいただき、事務所の開所を祝いました。



挨拶する藤代局長



祝辞を述べる和田市長



挨拶する澤田所長



来賓者との集合写真

小松防衛事務所の紹介

👉 業務紹介

富山県、石川県及び福井県の北陸3県を管轄区域とする小松防衛事務所は、当局が行う業務全般の連絡及び交渉、調査並びに資料の収集整理の支援など、第一線の現地における重要な役割を担っています。

具体的には、住宅防音工事や移転措置事業に関する住民の皆様からの各種相談窓口、移転措置事業で買い上げた土地（周辺財産）の巡回確認、地元の皆様への各種情報の提供など、地域に密着した業務を実施しています。



小松防衛事務所（小松空港庁舎 1 階）



小松防衛事務所の職員

👉 所在地及び連絡先

〒9923-0993

石川県小松市浮柳町ヨ21（小松空港庁舎1階）

TEL: 0761-24-1690

FAX: 0761-24-1640

E-mail: komatsu-jimusyo@kinchu.rdb.mod.go.jp

〔アクセス〕JR小松駅から小松空港まで連絡バス約12分



第33回 防衛セミナー開催（淡路市）

1月27日（土）、阪神・淡路大震災の震源地であった淡路島の淡路市立サンシャインホールにて、第33回防衛セミナーを開催しました。

講演に先立ち、地元淡路市の門市長からご挨拶を賜った後、兵庫県立大学大学院紅谷准教授から、「大地震に備えた家庭・地域の防災対策」、姫路駐屯地第3高射特科大隊長の奥田2等陸佐から「陸上自衛隊の災害派遣活動について」と題して、それぞれご講演いただきました。

当日は、ほぼ満席の約200名の方が聴講され、「備えを十分にしておくことが大切だと改めて実感した」「普段は自衛隊側のお話を聞くことはないので非常によかった」等のご感想をいただきました。

今回の防衛セミナーを通じて、防災意識が更に高まり、日頃からの備えや対策の重要性について、再認識していただくきっかけとなれば幸いです。

当局は、今後とも皆様からいただいたご意見を参考に、工夫を凝らしたセミナーを企画してまいります。



藤代局長の挨拶



門 淡路市長の挨拶



紅谷准教授



奥田2等陸佐



災害活動に使用される救急車等の展示



救急車内部と携行食の展示

FM 収録（若手職員との座談会）

当局では、防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体及び地域住民から幅広い理解と協力を得ることを目的とした地方協力確保事務の一環として、和歌山県湯浅町にあるコミュニティFM局「FMマザーシップ」のご協力を頂き、防衛政策や自衛隊・米軍の活動等について分かりやすく伝えるラジオ番組「防衛問答 近中でござる」を平成21年4月から放送しております。

これまで、防衛省・自衛隊の歴史に始まり、自衛隊の各種行動などを紹介してきており、近年では当局の業務の紹介とともに、防衛白書のポイント解説や当局が開催している防衛セミナー、日米交流音楽会の様子などを放送しております。

また、昨年8月及び本年2月の放送では、当局に勤務する入省2～3年目の若手職員が出演し、それぞれが担当する業務、職場環境、勤務時間外の過ごし方など、オンからオフに至る紹介を行ったほか、これから公務員を目指す方々へ、防衛省のPRとともに自分たちの防衛省への志望動機を紹介するなどして、応援のメッセージを送りました。

当局は、今後も当番組を通して、防衛政策から自衛隊の活動など、様々な話題を分かりやすく紹介していく予定です。

※近畿中部防衛局ホームページでは、過去に放送した内容を聞くことができます。



29年8月スタジオでの収録の様子



30年2月スタジオでの収録の様子



米軍経ヶ岬通信所に関する動き

米軍による地域住民との交流

(はっちょうはま)

米陸軍第 1 4 ミサイル防衛中隊は、昨年 10 月 28 日（土）に京丹後市網野町の八丁浜にて京丹後市国際交流協会との共催でハロウィンのイベントを開催しました。テーマは、「トランク・オア・トリート!」。自動車を飾り付けて、そこで「トリック・オア・トリート」を行うものです。100 名の子供たち、保護者の皆様、経ヶ岬通信所の関係者、地域からのボランティアスタッフを含む約 250 名が参加しました。

また、基地が所在する袖志地区^(そでし)では毎月「英会話交流会」を行っています。これは、子供たちにとって生きた英語を学んでもらえる機会となるだけでなく、私たち米側にとっても日本の伝統・文化に触れる素晴らしい機会となっております。

また、私たちも地域の一員として地元で開催されるイベントにも積極的に参加しています。引き続き皆様との交流を続けていくことを楽しみにしております。

【経ヶ岬通信所の活動状況などはフェイスブックにも掲載していますのでご覧ください。】

<https://www.facebook.com/14MDB/>



網野町・八丁浜でのハロウィンイベント



網野町・八丁浜でのハロウィンイベント



袖志地区での英会話交流



地元で開催された「カニカニマラソン」に参加



袖志地区海岸清掃に参加

部内講習会の開催

当局では、毎週月曜日の朝8時30分からの1時間、中堅・若手職員の育成を目的として、経験豊富なベテラン職員が講師となり、部内講習会を開催しております。

講習会の内容は、我が国の安全保障政策や日米地位協定の概要、各自衛隊の編成・運用、自らの経験談など普段聞くことが出来ないような講義を、対話形式で行っていただきます。受講生からは、「大変勉強になっている」、「これからの仕事の参考になる」、「毎週月曜日楽しみ」等大好評です。



講習会の様子

近畿中部防衛局からのお知らせ

職員採用について

当局では、国家公務員採用一般職試験（大卒・高卒程度）から採用を行っています。

また、随時、防衛省業務セミナーを開催していますので、当局ホームページの採用情報にてスケジュールをご確認の上、是非ご参加下さい！



	4月	6月	7月	7～8月中旬	8月下旬	10月以降	4月
国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験） 行政・技術	申込期間	第1次試験	合格者発表 第1次試験	第2次試験	最終合格者発表 防衛省業務セミナー	官庁訪問（採用面接）	内定 採用
国家公務員採用一般職試験（高卒程度試験） 事務・技術	6月 申込期間	7～8月中旬 防衛省業務セミナー	9月 第1次試験	10月 合格者発表 第1次試験	10月中旬 第2次試験 官庁訪問	11月以降 最終合格者発表 採用面接	4月 内定 採用



なるほど防衛豆知識

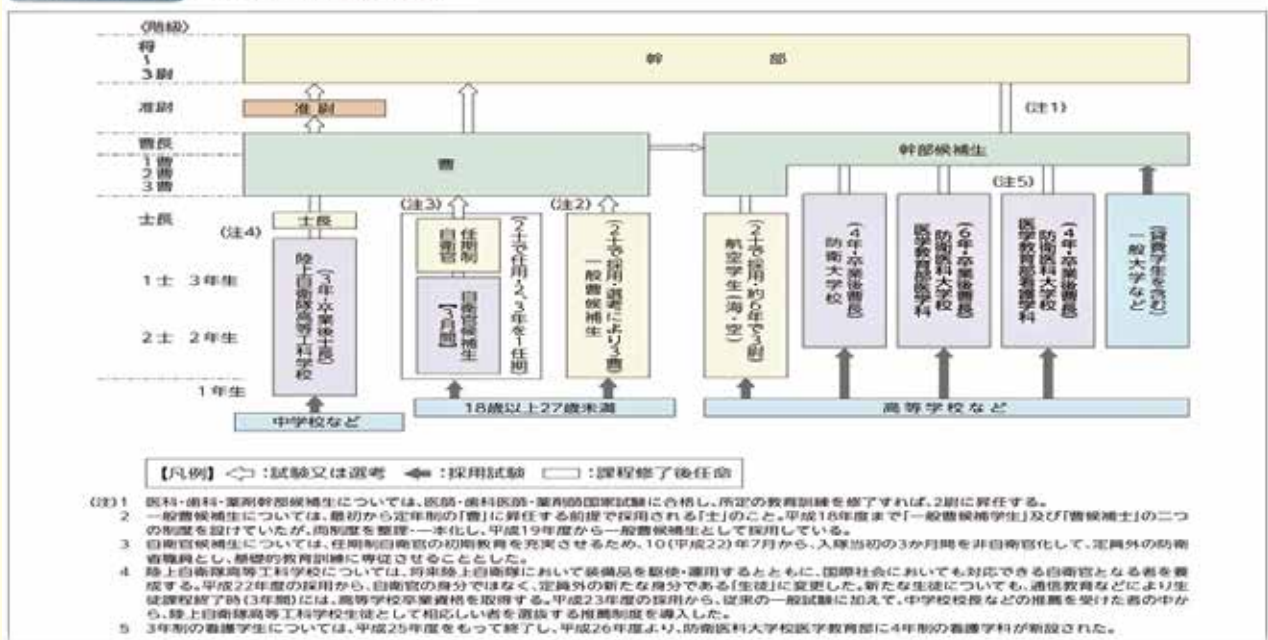
質問：自衛官になるためには、どのようなコースがあるの

回答：自衛官になるためには、主に **9つのコース** があります。

- ①「技術と体力を一心に磨く任期制自衛官」
- ②「部隊の中核となる自衛官を目指す」
- ③「国を思い自分を見つめる若人」
- ④「指揮を執る。この国を守り抜くために」
- ⑤「生命をつなぐ平和と医療の先駆者」
- ⑥「人を救う保健師・看護師に」
- ⑦「大空で活躍する夢を最年少で実現」
- ⑧「技術的スペシャリストへの入り口」
- ⑨「自衛官未経験でも予備自衛官に」

自衛官候補生
一般曹候補生
防衛大学校学生
一般幹部候補生
防衛医科大学校医学科学生
防衛医科大学校看護学科学生
航空学生
高等工科学校生徒
予備自衛官補

図表Ⅲ-3-1-2 自衛官の任用制度の概要



※詳細については、防衛省ホームページ[自衛官募集ホームページ]をご覧ください。また、各都道府県に所在する自衛隊地方連絡本部にお尋ねください。

■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構です。お聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

(住所)

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会(報道官気付)

(電話・FAX)

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

(メールアドレス)

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先

TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2018年1-3月号(通算第52号)

平成30年3月発行

近畿中部防衛局

広報編集委員会

TEL 06-6945-4953

URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

近畿中部防衛局広報誌「近畿中部」は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。